

Twin Pack バルブについて

2. バルブの取扱いについて

(1) 一次側グランドパッキンの締付け時期

「Twin Packバルブ」は、下記のような場合に一次側パッキンの締付けを行ってください。(Fig4参照)

- 1) 「Twin Packバルブ」を配管し、試運転を行うとき
- 2) 装置運転中、グランド部より漏れが認められたとき
- 3) 1年に1回位、定期的に締付けを行ってください。パッキンの寿命が長くなります

(2) 一次側グランドパッキンの締付け操作手順

1) ゲートバルブ (Fig4)

- a. バルブを全開させる (ハンドルは反時計方向←左回転)
- b. ハンドルを全開位置 (手にカチッという感覚のあった位置) で止める
- c. ロックナット①をゆるめてストッパー②をキーから外して、フリーにする
- d. ステム頂部レバー③を時計方向 (右回転) に約1/2~1回転させる。これで一次側パッキンの締付けは終わりです
- e. 最後に、ロックナット①を締付けて、ストッパー②を固定し、最初の状態に戻してください (必ず忘れずに！)

2) グローブバルブ、および鍛造バルブ (1 1/2"以下) (Fig5)

- a. バルブを全開させる (ハンドルは反時計方向←左回転)
- b. ハンドルを全開させる (手にカチッという感覚のあった位置)
- c. 全開位置より同じ方向 (反時計方向←左回転) に約1 1/2~1回転させる。これで一次側パッキンの締付けは終わりです

(3) 「Twin Packバルブ」取り扱い上の注意

- 1) 装置運転中に全開できないバルブ (例えば、コントロール用などの半開したバルブ、配管末端などに使用するブロック用、ドレン用など) には「Twin Packバルブ」の特長が発揮できません。定期修理などの装置停止時にパッキン締付け操作を行ってください。
- 2) 各「Twin Packバルブ」のヨークには締付け操作方法の説明板が取り付けられています。
- 3) 装置運転中、グランド部より漏れが認められた場合、締付けを行って漏れが止まったことを確認し、二次側グランドパッキンの増締め、交換ができます。
- 4) ゲートバルブの締付け (Fig4) においては、一次側パッキンの締付け完了後、レバー③を左回転 (パッキン締付けは右回転) させないでください。左回転させると、クラッチのねじが戻り、パッキンの締付けがゆるんでしまいます。パッキン締付け完了後、レバー③はそのままにしてロックナット①をロックしてください。
- 5) グローブバルブおよび鍛造バルブの締付け (Fig5) において、このバルブを全開させる時は、ハンドル廻し (ウイルキー) を使用しないでください。ハンドル廻しを使用すると、全開時点の感覚がわからず一次側パッキンの締めすぎになります。
- 6) 一次側パッキンの交換には締付金具をゆるめる工具を必要とします。

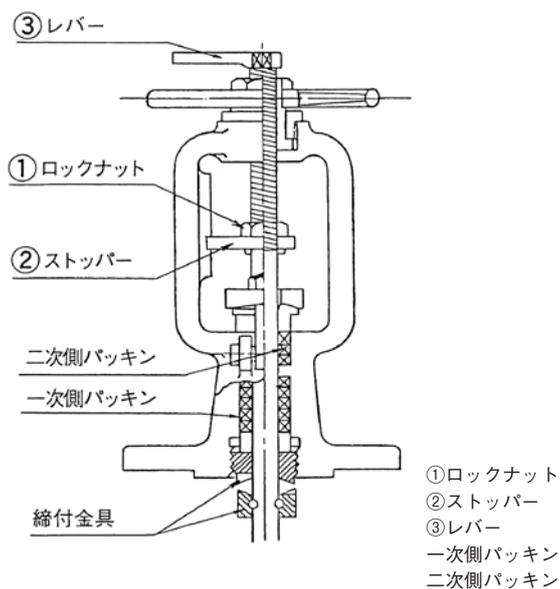


Fig4.ゲートバルブ

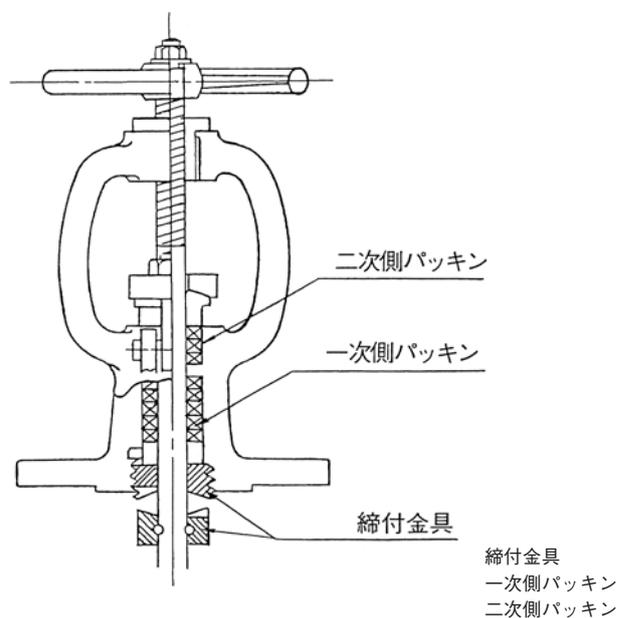


Fig5.グローブバルブ